



人のかかわり合いを大切に、体験を通して学ぶ

准校長 岡崎 恵子

日増しに寒さがつりの、今年も残りわずかとなりました。先日の小学部「授業参観」には、多くの方々にご来校いただき、子どもたちが、自分の考えを発表する姿、課題に粘り強く取り組む姿、友達と協力して活動する姿などをご覧いただきました。子どもたちはご家庭の方に見ていただくことで、いつも以上に張り切って学習に取り組んでいました。

中学部では、7年生が職業講話で様々な職業の方をお招きし、やりがいや仕事内容などを具体的にうかがうなかで、自分の将来に想いを馳せながら学びました。また、8年生は企業家プログラム授業で、グループごとに会社を立ち上げて商品を販売するまでの模擬体験をしました。体育館で実演販売をする際には、8年生の保護者に加えて小学部の子どもたちもお客さんとして参加しました。社会につながる体験的な学習となりました。



さて、第2回学校運営協議会が小学部の授業参観日に行われました。学校、家庭、地域が連携して子どもたちの育成を図るために意見交換等を行いました。地域・保護者・有識者の方々から成る委員の皆様には、霧が丘学園の特色ある取組「きりたま」「あすなろ」をはじめとする異学年交流で、一人ひとりの自己有用感が育まれていることを、特に評価していただきました。

今年は小学部で「霧が丘連合自治会」「青少年みどり遊楽舎」「社会福祉協議会」「学習ボランティアお話しポケット」などの皆様にご協力いただいた学習、消防署や自動車工場の方々の訪問授業、商店街、スーパーの見学など、多岐にわたって講話や体験を伴う学習があり、子どもたちは目を輝かせていました。内容を理解するだけでなく、そこで出会う方々のお人柄にふれ、物事に対する見方や考え方、想いや願いを学ばせていただいています。ICTの活用が進み、調べれば一定の解が即時に出たりその場に行かなくても映像等でイメージを膨らませたりすることができる時代ですが、子どもたちには「人とかかわり合いを大切に、体験を通して学ぶこと」の意味や価値を改めて感じてほしいと思います。そして、このような本校での学びが、子どもたちが大人になっていく過程で、さらに社会や世界の人とつながる礎になることを願っています。

今年も保護者・地域の皆様に学校の教育活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。子どもたち、そして皆様が穏やかな新年を迎えられますことをお祈り申し上げます。令和6年も、学校教育目標「人とかかわり合いを大切にした教育を推進し、豊かな人間性をもった児童・生徒を育てます」のさらなる実現を目指し、充実した教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

・各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>

QRコード

